

海っ子通信の発刊にあたり



私たち海っ子の森は2004年に活動をはじめ、12年が経ちました。「海藻の森を未来に残したい」という強い思いで現在まで続けてきました。ここに至るまでには、多くの方々の支えがあってこそと考えております。この場をお借りして、感謝申し上げます。

私たちの行ってきた活動は、前例のない海の世界に対する市民活動でもあり、自然の大きな力の前に試行錯誤の連続です。活動成果は、山の森づくりのような裏山全体への植林といった大きなものには至っておりません。しかし、「海の砂漠化」（磯焼け）や「海ゴミ」（ゴーストフィッシング）など、人類が直面する様々な海の問題を学び、それを市民活動として行動につなげてきました。

2016年度は、これまでの活動に対して2件の表彰を頂きました。今回の表彰で、我が国を囲む海が直面する問題についての理解者が増えたと考えています。

私たちの活動記録と共に、私たちが主たる活動の場としている海が抱える諸問題に関して情報配信を行うことを目的に「海っ子通信」を発刊することに致しました。

今後とも、本会の活動へのご理解とご尽力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2016年度 活動実績と報告

- 【海の植林活動】ミキモト真珠島社員の皆さんと（4月）
- 【海の植林活動】三重県紀北町島勝海岸（4月）
- 【海の植林活動】市民ダイバーの皆さんと（三重県尾鷲市）（5月）
- 【取材】TBS「アースラボ」に山下代表が出演（6月）
- 【海岸清掃活動】一般・シードリーム・TOTO社員他の皆さんと（三重県尾鷲市）（9月）
- 【表彰】社会貢献者財団社会貢献者表彰受賞（11月）
- 【取材】読売新聞取材（12月）
- 【表彰】低炭素杯2017 一次審査突破（最終プレゼン審査）（12月）
- 【表彰】低炭素杯2017 アンバサダー特別賞受賞（2月）



Topics トピックス

2016年社会貢献者表彰受賞

11月28日



低炭素杯2017 アンバサダー賞受賞

海の植林活動によるCO2の削減への取り組みについて、全国951団体の応募のうち26団体のファイナリスト選出されました。日経ホールで植林活動について発表を行いアンバサダーを務めるさかなクンよりアンバサダー賞を頂きました。今回の発表では、三重県が誇る伊勢エビ漁獲高1位であるにもかかわらず、年々漁獲高が減っていることと海の磯焼けについて発表を行いました。

低炭素杯HP www.zenkoku-net.org/teitansohai/



TBS アースラボ出演



「EARTH Lab〜次の100年を考える」… 世界、地球が抱える様々な問題を視聴者に投げかけ、そんな地球規模で起こっている問題に対して、様々なチャレンジを起こしている人を紹介する番組

番組概要
番組で発信したメッセージ

100年後、私たちが直面している磯焼け問題が、地球温暖化や人類により、より悪化し続けているのかは分かりません。しかし私が小さいころ（35年前）は磯には海藻が生い茂っていて、これがたった20年でここまで悲惨な状況になるとは誰も思っておりませんでした。現在、当時よりも環境問題に関する情報が豊富で、NPOなどの形で様々な活動がなされています。人々がどれだけ環境問題への意識を持ち行動をできるのか、そしてどれだけ環境を守っていけるのか。私たち海っ子の森も100年先の孫の世代に向けて、お手伝いできればと考えます。

